

令和7年度教育課程特例校編成の方針等の 公表及び報告について

令和7年度教育課程特例校編成に関する実施結果について、自己評価、学校関係者評価、外部評価は以下の通りであった。

1 自己評価について

(1) 英検の推奨・実施

受験者の合格率は約90%で、例年と変わらず高止まりの傾向にある。受験者の意欲は高く、英語の成績や自信に結びついている。

(2) スピーチコンテストの実施

6年生全員参加の予選で選ばれた12名が物語の暗唱に挑戦した。教育委員会の指導主事等の外部関係者にも審査員をお願いした。児童の表現力の向上のために有効な取組である。また、5年生にも参観させ、次年度に繋げることができた。

(3) ESGの実施

自分の1年間の英語力の振り返りには効果的な取組であり、補充指導にも役だった。

(4) パフォーマンステストの実施

各単元後に自分の考えを話す場を設定した。児童のスピーキング能力を向上することができた。

(5) 異国の文化を知る機会の設定

Easter、Halloween、Thanksgiving等の文化を授業や掲示物で紹介した。また、文化を学ぶ単元と連携して、異国の文化・風習を感じられる雰囲気づくりに努めた。

(6) 指導カリキュラムの改訂

各学年の発達段階や落ち込みのある内容を考慮し、カリキュラムを見直しながら指導し、児童のスキルアップに結びついている。

※概ね満足 of いく取組と言える。この取組を保護者に発信し、家庭との連携強化に努めているので、これを継続することが今後の課題である。

2 学校関係者評価について

【児童の主な感想等】

- ・パフォーマンステストは、最初恥ずかしかったけど、何回もやっているうちに慣れてきて、自信ができました。スピーチコンテストに出てみたくなりました。
- ・英語が好きになってきたので、英検を受けてみたいです。
- ・英語に興味が出てきたので、家でアプリの英語の学習を始めました。
- ・英語の勉強だけでなく、ハロウィンとかイースターとか外国の行事や文化を知ることができて、楽しいです。

※感想から「児童の英語への興味・関心が高まった」「読む・聞く・話す・書く等のスキルの向上が見られ自信に繋がった」「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が向上した」といえる。

【保護者のアンケートから】

- ・「学校評価アンケート」の「学校は英語教育（国際理解教育）の推進に努めている。」という項目では、約85%の保護者がポジティブ評価を示している。これは昨年度より高いポイントを示しており、参観日等で英語の授業を実施したり、学校だよりや学級通信で発信している成果であると考えられる。

※保護者からの評価は、概ね満足 of いく結果だと考える。しかし、約10%の保護者は、「英語教育推進をしているかわからない」と答えているので、今後も、継続した保護者への情報発信に努めていきたい。

3 外部評価について

【学校訪問の感想から】

- ・会話全てが英語でやり取りされており、子どもの英語力に驚いた。
- ・東通小は、英語に力を入れているので引き続き頑張ってほしい。
- ・各学年の発達段階に応じて、英語での指示のレベルが違ったり、様々な活動に取り組ませたりと工夫していると感じた。
- ・どの児童も、英語に抵抗感を示すことなく、楽しそうに活動している印象を受けた。

※参観者からは、概ね満足 of いく感想をいただいた。今後もこども園、小学校、中学校と連携した英語教育に取り組みたい。